

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 25日

中施策事業名	収納管理事務	部課名	市民生活部・債権管理課
		作成者	高垣 茂晴

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する
④中施策事業の対象	納稅者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	現年度の収納率が向上し、市税が確保されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・過誤納金処理事務・口座振替処理(口座推進事業)事務、・収納データ取込・消込事務、・出票(作成・金融機関送付含む)事務、・督促状(作成・調査含む)事務、・徵収連絡票記入事務、・納稅貯蓄組合関係事務、・徵収嘱託事務

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
収納率(現年分)		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	99	99	99	99	99	0
	実績値	99.48	99.62				
単位	%	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			13,811千円	17,920千円	
人件費	a 事業費合計		13,811千円	17,920千円	24,594千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
	人件費合計		0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			13,811千円	17,920千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			201円	260円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△ B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	<input type="radio"/> A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 地方税共通納税システム及び統一QRコードの運用が認知されてきたこともあり、昨年同様の高い収納率を維持できた。 また、令和6年10月から収納コールセンターを開設し、架電・DM発送等により、自主納付を促した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	滞納者に対して機械的に送付していた催告書を個別に選定して対応することで、より効果的な収納率向上が見込める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	現在、地方税共通納税システムの対象税目となっていない市県民税および国民健康保険税についても標準化システム移行に併せて統一QRコードを導入する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 25日

中施策事業名	滞納整理事務	部課名	市民生活部・債権管理課
		作成者	高垣 茂晴

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する
④中施策事業の対象	納稅者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	収納率を向上させて、市税が確保されている
⑥中施策事業を構成する事務事業(手段)	・市税の徵収金に関する事務、・滯納者への催告事務、・滯納者への財産調査事務、・相続人調査事務、・滯納者の財産差押処分の執行事務、・破産、競売事件等に係る交付要求事務、・差押財産の換価事務（公売）、・市税の納稅猶予に関する事務、・執行停止及び不納欠損に関する事務、・納稅相談、・電算事務

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
収納率(滞納分)		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	30	31	32	0	0
		実績値	53.84	54.47			
単位		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			11,821千円	15,733千円	
人件費	a 事業費合計		11,821千円	15,733千円	15,520千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			11,821千円	15,733千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			172円	229円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	<input type="radio"/> A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	<input type="radio"/> A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和6年度は、例年に引き続き目標値を上回って達成した。高水準の収納率を維持できており、大施策に大いに貢献していると言える。特に、財産調査に新たに取り入れた預貯金照会電子化サービス(pipitLINQ)により、昨年度を大きく上回る数の預金差押をした。また、複数の不動産差押による換価や、検索、車両の差押など、多様な方法で滞納処分も行った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和7年度は、引き続き預貯金照会電子化サービス(pipitLINQ)を活用して得た財産情報を用いて、多くの滞納処分を行う。郵送差押を中心に行い、効率的な滞納処分を行うことで収納率の維持・向上を目指す。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和8年度以降は、徴収技術や交渉レベルの維持や、後進の育成に力を入れていきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 25日

中施策事業名	債権管理事務	部課名	市民生活部・債権管理課
		作成者	高垣 茂晴

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する
④中施策事業の対象	以下債権の滞納者 ・後期高齢者医療保険料・介護保険料・保育所保育料
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	税以外の強制徴収債権の収納率を向上させて税外債権が確保されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	税外収入金に関する事務

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
保育料収納率(滞納分)		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	30	31	32	0	0
		実績値	74.92	17.22			
介護保険料(滞納分)		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	30	31	32	0	0
		実績値	48.22	48.19			
単位	%	単位	%	単位	%	単位	%

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			0千円	0千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	0円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	<input type="radio"/> A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	<input type="radio"/> A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和6年度は、介護保険料は目標値を上回って達成した。保育料は滞納調定額が年々下がっており、少額で収納率が大きく変動していると考えられる。引き続き収納率を高く維持できるように滞納整理を進めていきたいと考えている。コスト面では、税と一体的に徴収を行っているため、人件費程度で支出が収められている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和7年度は、十分な財産調査を行って滞納処分を進めるなどして、より高い収納率を維持していきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和8年度以降は、徴収技術や交渉レベルの維持や、後進の育成に力を入れていきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等